

なかつか 亮



どうして不採択?

認可保育園増設、30人学級実施の願い

—品川区議会文教委員会にて—

品川区議会文教委員会は30日及び1日、区が実施を拒んでいる認可保育園増設や30人学級実施等を求める請願署名2件を、自民、公明、民主、無所属の会の反対多数で不採決にしました。共産党は「保護者の願いは緊急で切実」と採択を主張しました。

共産党は採択主張

請願2件は「品川保育問題協議会」「新日本婦人の会」が提出したものの。「公的保育制度の堅持・充実」「認可保育園の増設」「すまいるスクール改善」「小中学校30人学級実施」など。計5100人分です。

共産党は生活のため子ども二人を認証保育園に預け、パートをダブルワークしているお母さんを紹介。「ぜんそく持ちの上の子は、度々入院することも。」

仕事は休むしかない状態だが休むと勤務時間が短いと区に判断され2年続けて認可園は落選。来年もまた認可に入れないと家計は火の車です。子どもが体調を崩さないかビクビクしています」と区民の実態を示し、認可保育園増設を主張しました。

30人学級は可能



30人学級について区は「区独自の実施は困難」と説明。共産党は「小中一貫教育に充てている区採用教員を、クラス担任にすることで30人数学級実施は可能」と反論。区も「制度上は担任配置は可能」と認めました。



しかし採決では自民、公明、民主、無所属の会の各区議が請願に反対。賛成は共産党と生ネットのみ。賛成少数で不採択となりました。各党の反対理由など詳しくは、議事録がわかり次第、再度ご報告します。



西大井 5-20番地付近の様子

水害対策が前進 西大井5-20番地付近



台風が来るたび

「クタクタ」

今年10月8日深夜、台風18号の影響で品川区内は床下浸水7カ所、床上浸水3カ所の被害が発生しました。

地域の方は「毎年夏は台風が東京方面に向くたび、一日かけて一階の荷物をあげて、土のうを玄関前に積む。仮に台風がコースを外れ何事もなく終わっても、翌日は荷物と土のうのかたづけに追われる。水があがった日には、もつクタクタです」と話します。

こうした地域の1つが西大井5丁目20番地付近。周辺に比べ低く道路から雨水が川のように集中。長い間、水害に悩まされていきます。

抜本対策の実施を

共産党は区内水害対策の強化を繰り返し要請。

この地域では、平成12年にグレーチング（銀色のじゃばら状になった雨水排水口）を設置させました。

しかしその後、平成17年の台風で再び水害が発生。近所の方は「下水がマンホールからあふれ、道路も家の中も泥だらけ」と肩を落とします。

共産党は再び区に対策強化を要請。区は都に「十分な対応を求める」と要請書を送付。下水道管のループ化（隣接するマンホールをつなぎ、雨水の流れを改善する）工事が実現

しました。

さらに、今年7月には近所の方と下水道台帳をもとに現地を調査。この地域特有の雨水の流れの悪さや下水道管容量の差などが判り、この調査を元に区や都に水害の原因原因調査、抜本対策の実施を要請しました。

対策強化が実現

今年10月の台風18号で、また水害が発生。直ちに区に対応を要望。11月12日に都が再度、調査を実施し、先日、対応策が議会に報告されました。

内容はグレーチングを増やし雨水の流れを改善させるもの。工事は12月中に行われる予定です。

まだ安心とは言えませんが一歩前進です。

今後も対策強化に向けがんばります。

なかつか亮



訂正
前回267号の2面本文2段目は「女性用トイレに洋式を設置など」の誤りです。訂正します。

『無料法律相談会』

12月18日(金) 午後6時～8時

場所：日本共産党なかつか亮事務所

弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください

問い合わせ

昼：区議控室 **5742-6818**

夜：事務所 **3773-3231**